

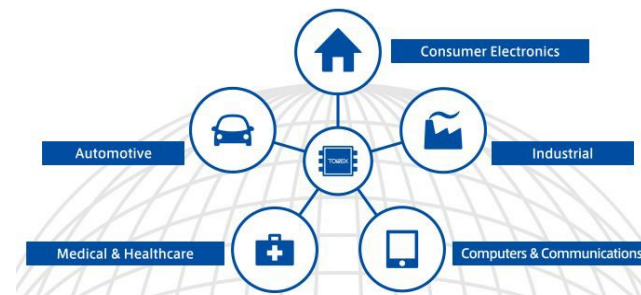
2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

2024年2月14日

トレックス・セミコンダクター株式会社

世界は「アナログ」でできている

あらゆるフィールドで活躍するトレックスの電源IC



1

2024年3月期 第3四半期業績

2

2024年3月期 業績予想

3

株主還元

4

トピックス

Appendix

2024年3月期 第3四半期業績

▶ **トレックスは、半導体市場の低迷が継続し、売上が大きく減少。在庫の評価損も影響し、減収減益**

▶ **フェニテックは、中国を中心としたアジア向けが大きく減少し、減収減益**

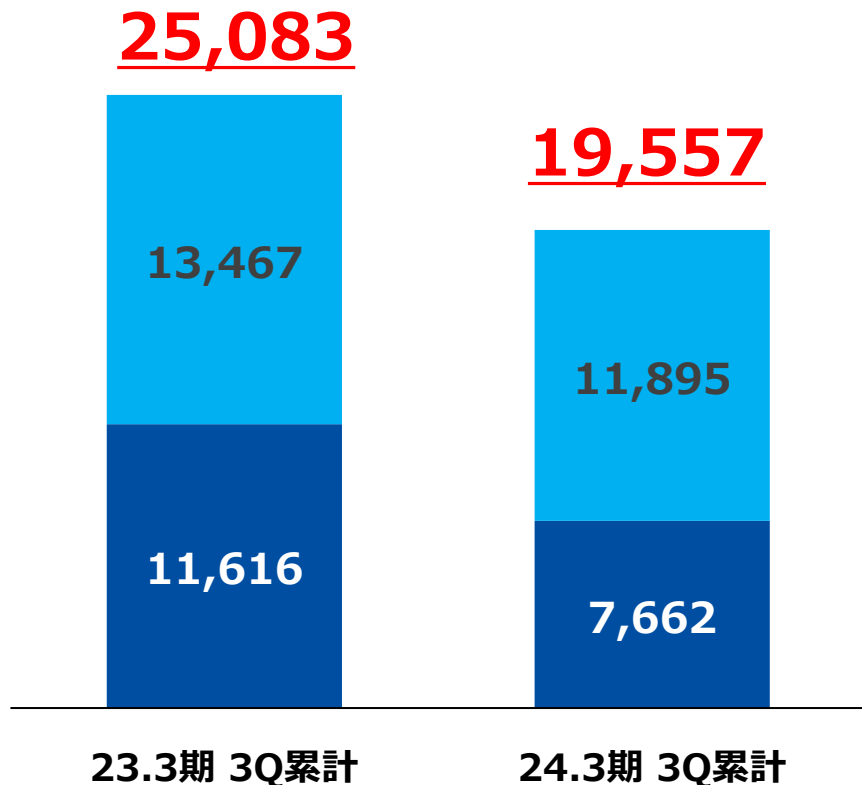
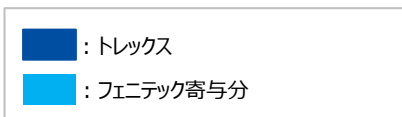
▶ **通期業績予想は、前回予想から変更なし**

(単位：百万円)

	23.3期 3Q累計実績	24.3期 3Q累計実績	対前年同期比 増減率
売上高	25,083	19,557	▲22.0%
営業利益	4,289	▲412	-
営業利益率	17.1%	▲2.1%	-
経常利益	4,268	▲902	-
親会社株主に 帰属する四半期純利益	2,973	▲812	-
EPS (円)	271.27	▲73.85	-
海外売上高比率 (*1)	70.4%	67.6%	▲2.8pt
平均為替レート (1\$=)	¥135.4	¥142.7	-
減価償却費	1,154	1,594	38.1%
設備投資	3,494	2,645	▲24.3%

(*1)海外売上高比率：外貨建て売上比率

(単位：百万円)



トレックス

- 半導体市場の継続的な低迷により、大きく減少
- 全てのアプリケーション分野で減少

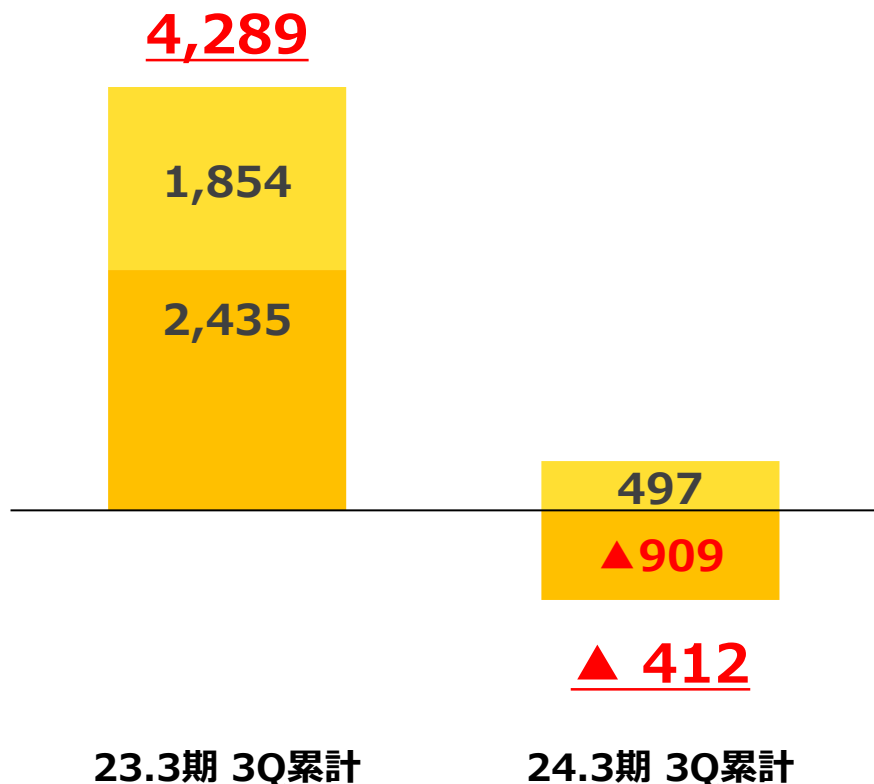
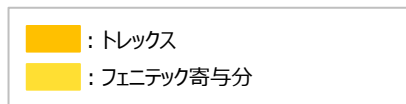
フェニテック

- 中国市場の低迷を受けて減収
- 一般民生機器分野などで大きく減少

(単位：百万円)

	23.3期 3Q累計実績	24.期 3Q累計実績	対前年同期比増減率
売上高	25,083	19,557	▲22.0%

(単位：百万円)



➤ トレックス

- 売上の減少と棚卸評価損※などの発生により、営業損失に転じる

※ 影響額：約11.7億円

➤ フェニテック

- 売上の減少に伴い、減益

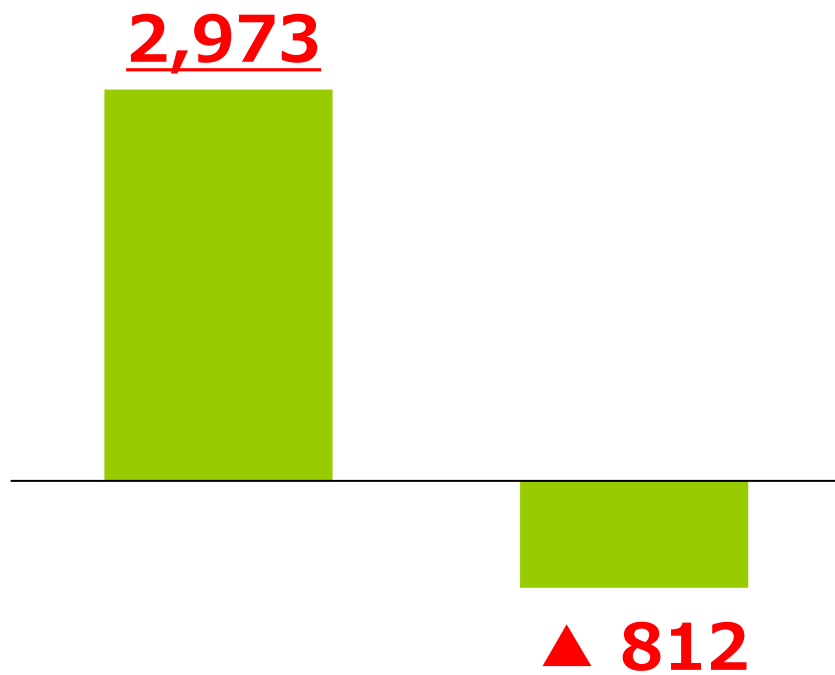
(単位：百万円)

	23.3期 3Q累計実績	24.3期 3Q累計実績	対前年同期比増減率
営業利益	4,289	▲412	—

2024年3月期 第3四半期業績 親会社株主に帰属する 四半期純利益



(単位：百万円)



各段階利益の減少と、為替差損の発生により、当期純損失に転じる
(為替差損：約4.7億円)

23.3期 3Q累計

24.3期 3Q累計

(単位：百万円)

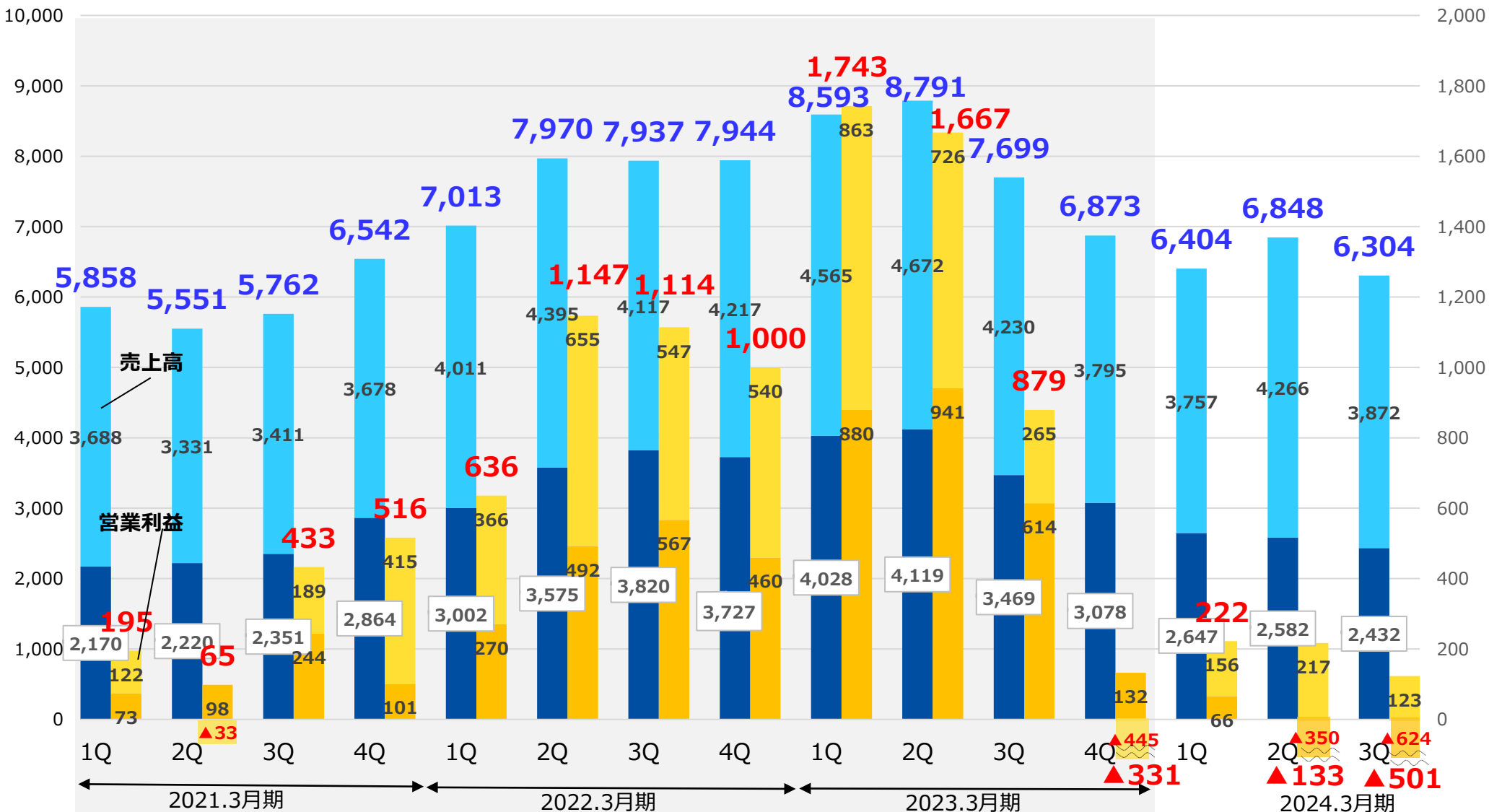
	23.3期 3Q累計実績	24.3期 3Q累計実績	対前年同期比増減率
四半期純利益	2,973	▲812	—

売上高・営業利益の四半期推移



(左軸：売上高) トレックス : ■ ■
 (単位：百万円) フェニテック : ■ ■

(右軸：営業利益)
 (単位：百万円)



(単位：百万円)

科目	23年3月期末	24年3月期 3Q末	対前期末増減
資産	37,048	40,699	3,651
負債	12,454	17,283	4,829
純資産	24,593	23,415	▲1,178

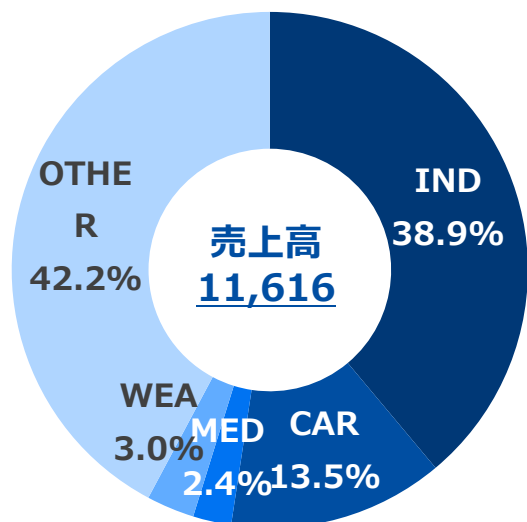
<参考> キャッシュ・フロー関連指標の推移

科目	23年3月期末	24年3月期 3Q末	対前期末増減
有利子負債	7,734	13,623	5,889
自己資本比率	66.4%	57.5%	▲8.9pt
D/Eレシオ	0.31	0.58	0.27

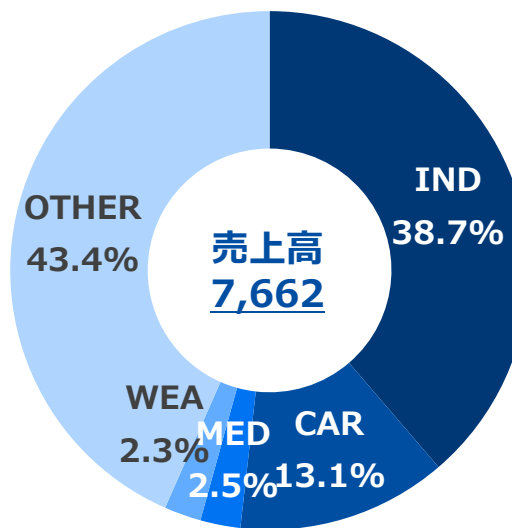
トレックス／フェニテック 各単体

2024年3月期 第3四半期業績 ～アプリケーション別売上高（トレックス）

TOIREX



23.3期3Q累計実績



24.3期3Q累計実績

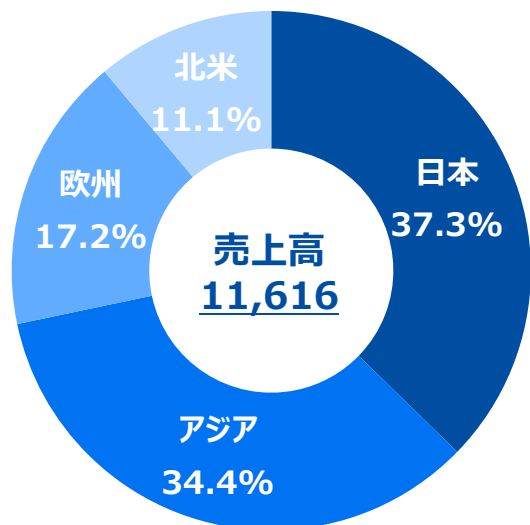
(単位：百万円)

アプリケーション	23.3期 3Q累計		24.3期 3Q累計		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	4,523	38.9%	2,966	38.7%	▲34.4%
CAR 車載機器	1,565	13.5%	1,002	13.1%	▲36.0%
MED 医療機器	282	2.4%	190	2.5%	▲32.6%
WEA ウェアラブル機器	346	3.0%	177	2.3%	▲48.8%
OTHER その他機器	4,900	42.2%	3,327	43.4%	▲32.1%

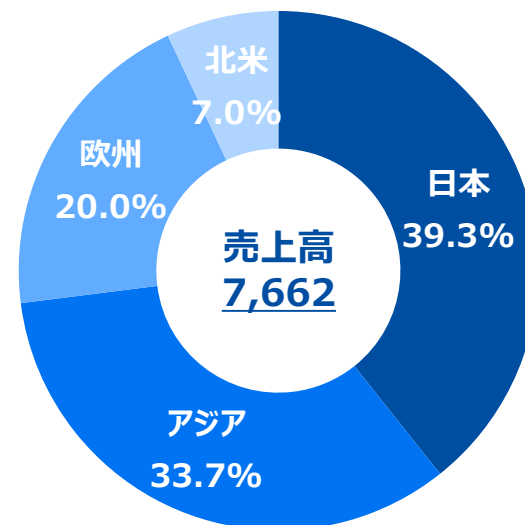
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

2024年3月期 第3四半期業績 ～地域別売上高（トレックス）

TOIREX



23.3期3Q累計実績



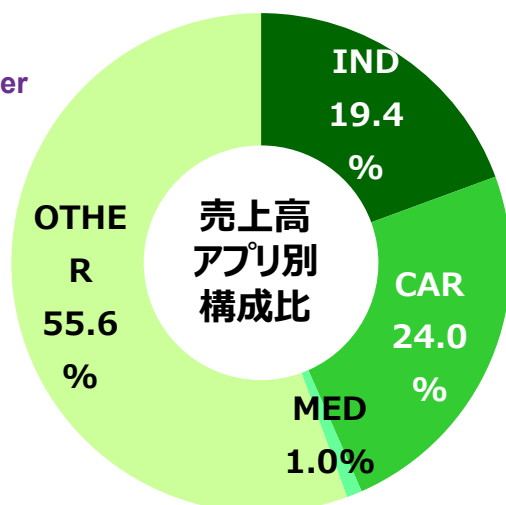
24.3期3Q累計実績

(単位：百万円)

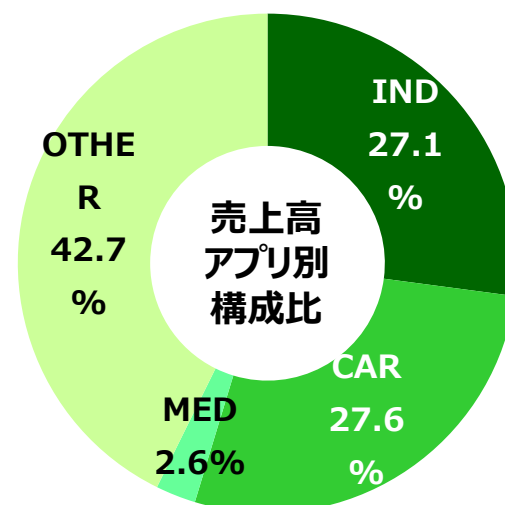
地域 (D-in)	23.3期 3Q累計		24.3期 3Q累計		対前年同期比 増減率
	D-in 売上高	構成比	D-in 売上高	構成比	
日本	4,329	37.3%	3,012	39.3%	▲30.4%
アジア	3,991	34.4%	2,584	33.7%	▲35.3%
欧州	2,000	17.2%	1,530	20.0%	▲23.5%
北米	1,296	11.1%	536	7.0%	▲58.6%
平均為替レート (1\$=)		135.4円		142.7円	-

D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高

2024年3月期 第3四半期業績 ～アプリケーション別売上高（フェニテック）：参考値



23.3期3Q累計実績



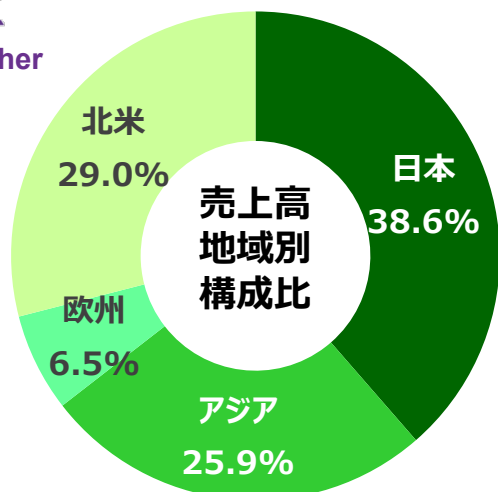
24.3期3Q累計実績

(単位：百万円)

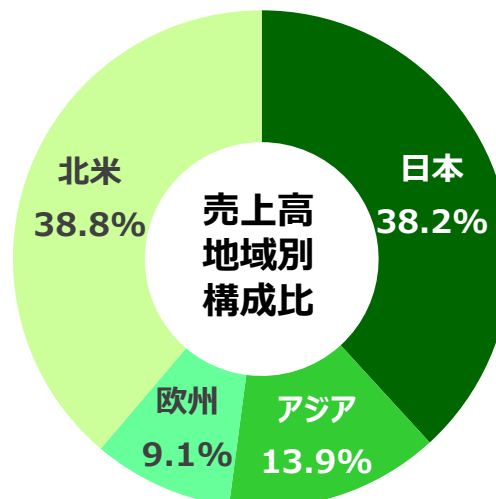
アプリケーション	23.3期 3Q累計		24.3期 3Q累計		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	2,942	19.4%	3,468	27.1%	17.9%
CAR 車載機器	3,646	24.0%	3,531	27.6%	▲3.6%
MED 医療機器	159	1.0%	330	2.6%	107.5%
OTHER その他機器	8,451	55.6%	5,414	42.7%	▲35.9%

※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。
トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2024年3月期 第3四半期業績 ～地域別売上高（フェニテック）



23.3期3Q累計実績



24.3期3Q累計実績

※ 顧客の所在地別に区分しています。

(単位：百万円)

地域（顧客）	23.3期 3Q累計		24.3期 3Q累計		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	5,862	38.6%	4,874	38.2%	▲16.9%
アジア	3,940	25.9%	1,769	13.9%	▲55.1%
欧州	988	6.5%	1,158	9.1%	17.2%
北米	4,408	29.0%	4,942	38.8%	12.1%
平均為替レート（1\$=）	135.4円		142.7円		

※注：日本には、トックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2024年3月期 業績予想

業績予想に変更はありません

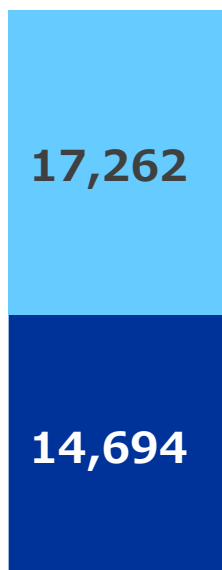
(単位：百万円)

	23.3期 通期実績	24.3期 業績予想	対前年 同期比 増減率	備考
売上高	31,956	26,500	▲17.1%	
営業利益	3,976	▲900	-	
営業利益率	12.4%	▲3.4%	-	
経常利益	3,981	▲1,200	-	
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,179	▲840	-	
EPS (円)	198.69	▲76.36	-	
平均為替レート (1\$=)	¥134.9	¥142.7	-	
減価償却費	1,645	2,487	51.1%	
設備投資	4,850	5,917	22.0%	

(単位：百万円)

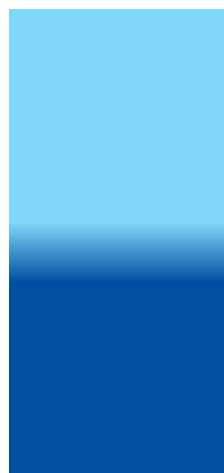
■ : トレックス
■ : フェニテック寄与分

31,956



2023/3期
実績

26,500



2024/3期
業績予想

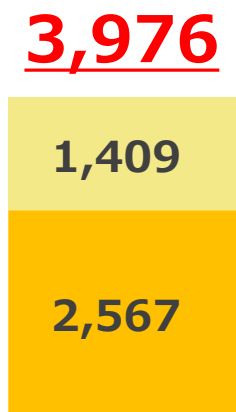
中国市場を中心とした、半導体市況の低迷が継続し、減収と予想

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	対前年増減率
売上高	31,956	26,500	▲17.1%

(単位：百万円)

■ : トレックス
 ■ : フェニテック寄与分



2023/3期
実績



2024/3期
業績予想

売上の減少とTRXにおける在庫の評価損※の発生により大きく減少。
 営業損失に転じる
 ※見込額：約19億円

	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	対前年増減率
営業利益	3,976	▲900	—

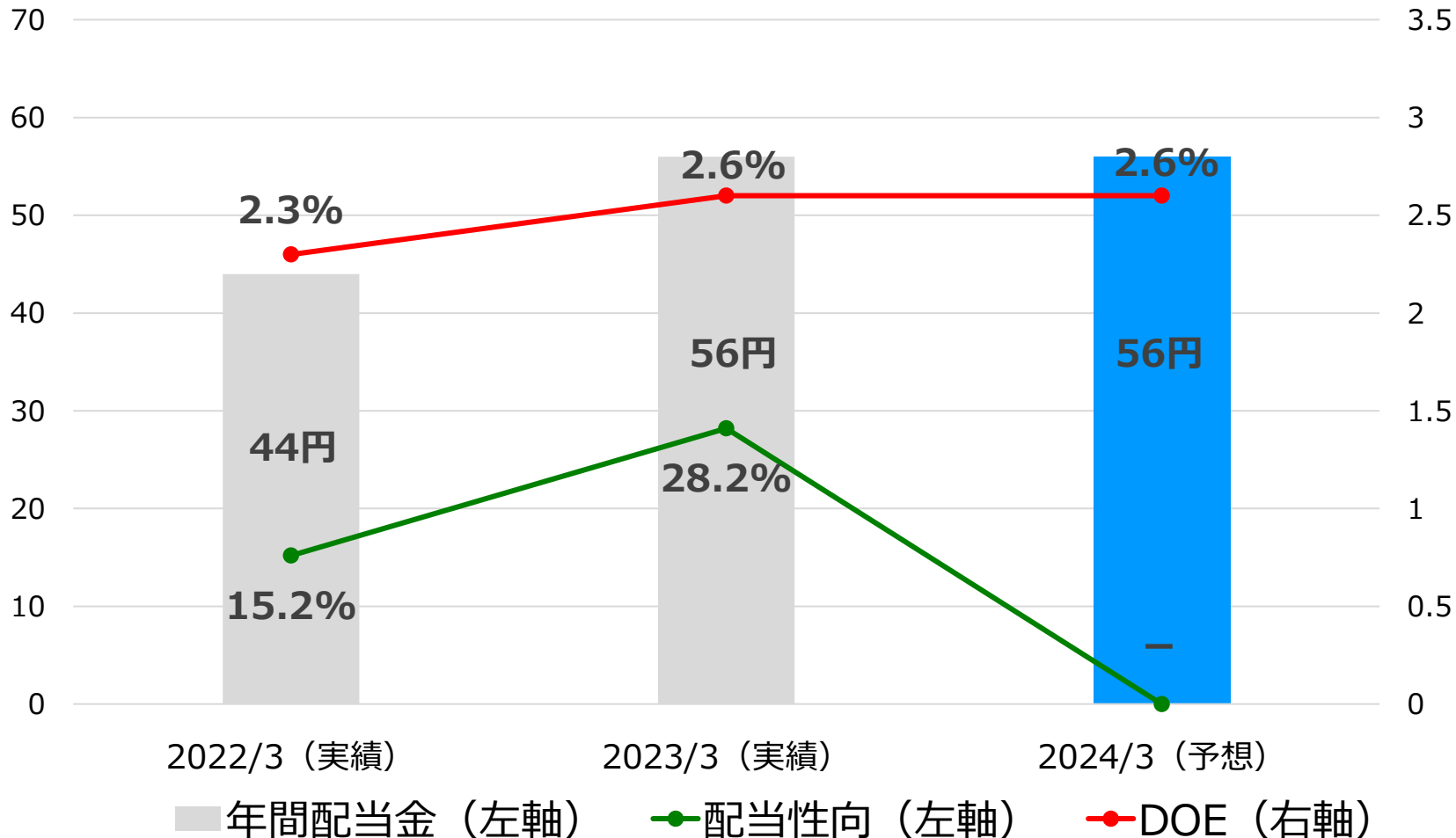
株主還元

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として
連結配当性向20%以上、安定的かつ継続的な株主還元
の拡充として**株主資本配当率（D O E）3%程度**を当面
の目標として実施しております。

連結配当性向20%以上、D O E 3%程度を目標として還元

配当金：円
配当性向：%

DOE：%



トピックス

トレックス・セミコンダクター 製品／技術 **“強み”** の紹介

小型／高効率／低電圧出力／低ノイズを凝縮した
“micro DC/DC”コンバータ

コイルー体型 XCLシリーズ

● 豊富な構造で、適材適所に対応するTRXの “ micro DC/DC ”

- ・ DC/DCコンバータとコイルを一体化することで、基板の実装面積を削減
- ・ 低ノイズ、小型、高放熱に優れ、あらゆるシーンで高効率で安定した電源回路構成が可能
- ・ 中高耐圧／大電流化に向け、更なる進化を続けています。

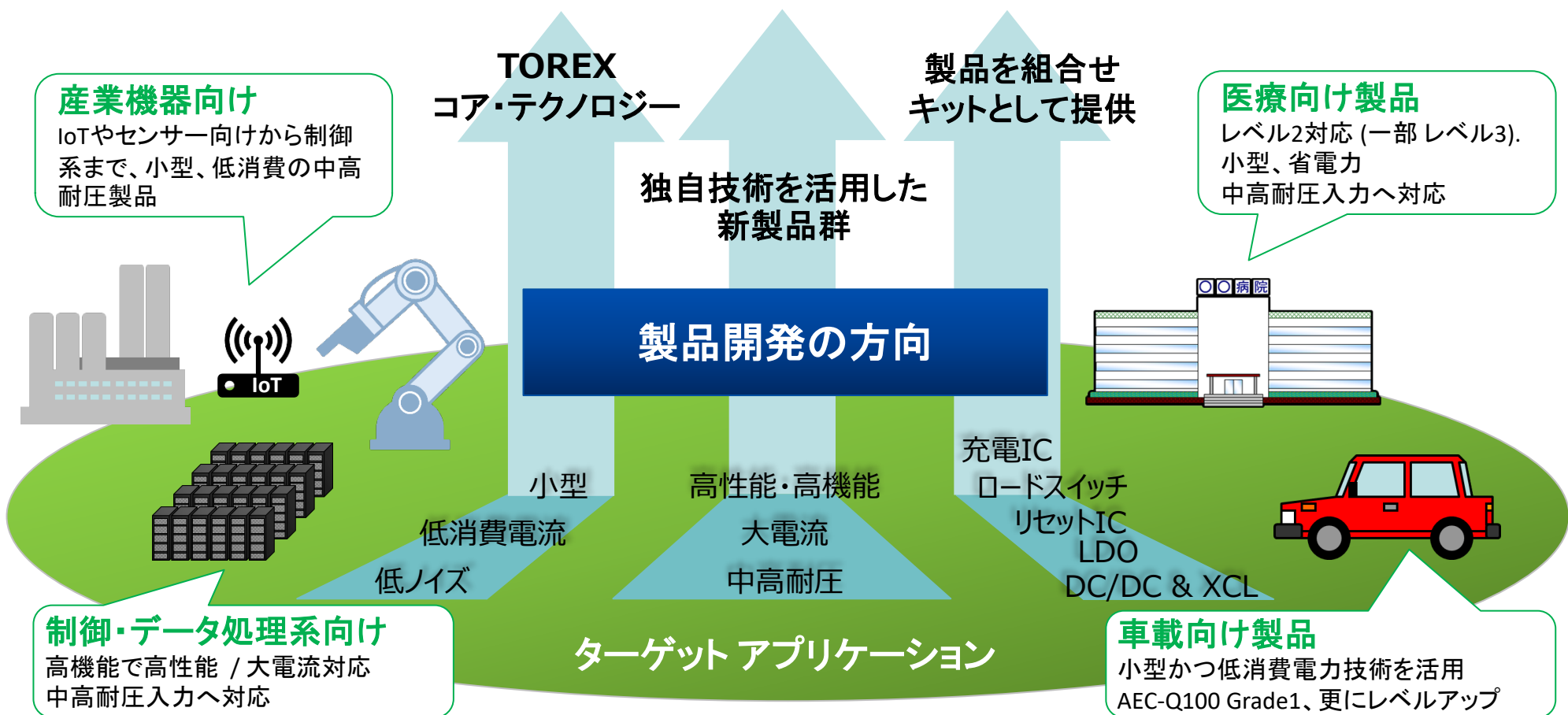
構造名	ポケットタイプ	スタックタイプ	マルチプルタイプ	クールポストタイプ
構造図				
構造説明	ICをコイルで覆ってしまう方法	コイル上にICをスタックする方法	コイルとICを横に並べる方法	モールドされたICにコイルをスタックする方法
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 放射ノイズ ◎ 近傍磁界 △ コスト ◎ 実装面積 ○ 大電流 ○ 放熱 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放射ノイズ △ 近傍磁界 ◎ コスト ○ 実装面積 △ 大電流 △ 放熱 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放射ノイズ ○ 近傍磁界 ○ コスト △ 実装面積 ◎ 大電流 ◎ 放熱 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放射ノイズ ○ 近傍磁界 △ コスト ○ 実装面積 ○ 大電流 ◎ 放熱
製品	XCL100/XCL101 (昇圧) XCL102/XCL103 (昇圧) XCL201/XCL202 (降圧) XCL205/XCL206 (降圧) XCL210 (降圧) XCL232 (降圧)	XCL208/XCL209 (降圧)	XCL211/XC212 (降圧)	XCL104/105 (昇圧)

トレックスグループの製品展開

- ・ ターゲット市場
- ・ 製品展開

ビジネス／市場にマッチした製品開発の方針

- 持続可能な社会とDXを推進するための最適なソリューションを提供します。
- 小型・低消費電力製品に加え、制御系やデータ処理向けの高性能な電源IC製品を拡充します。
- 特長ある製品を組み合わせたキットを提供することで、システムの電源構成をサポートします。



HiSAT-COT®制御 超小型/高速応答 600mA 降圧DC/DC XC9290/XC9291 シリーズ

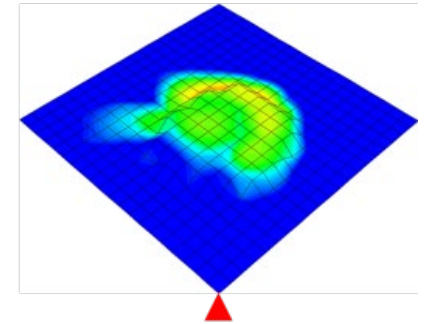
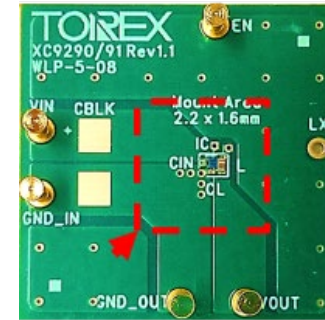
- HiSAT-COT制御
- 同期整流 ドライバ FET内蔵
- 高周波数化による小型コイル、コンデンサが使用可能
- 超小型 WLPパッケージ(0.96×0.88×0.33mm)

製品の特長

- 高速応答の HiSAT-COT回路
- 発信周波数 : 4MHz、6MHz
- 出力電圧 : 0.7V~3.6V (±2%)
- 省スペース回路構成

ターゲットアプリケーション

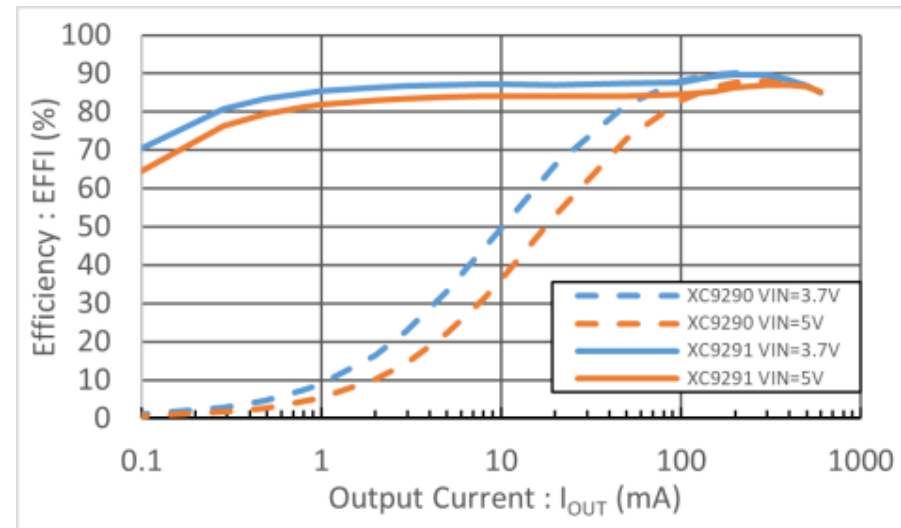
スマートフォン、携帯電話、ワイヤレスイヤホン、
ヘッドセット、ウェアラブルデバイス、携帯ゲーム機
スマートカード、各種モジュール用電源



低EMI特性

電力変換効率特性例

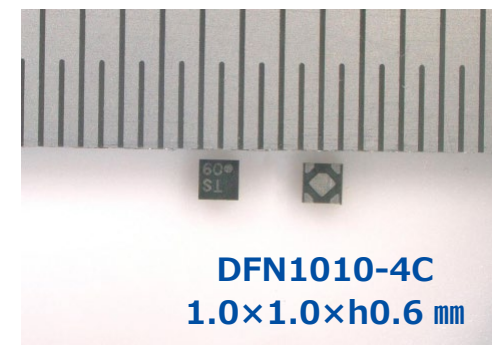
V_{OUT}=1.8V、V_{IN}=3.7Vで効率90%



高速LDOLレギュレータ AEC-Q100 Grade 1 準拠

XD6239 シリーズ

- ・ 車載用 125°C 対応
- ・ 低ノイズ・高PSRR、ON/OFF制御機能付き
- ・ 高リップル除去 75dB@1KHz
- ・ 消費電流 : 100 μ A

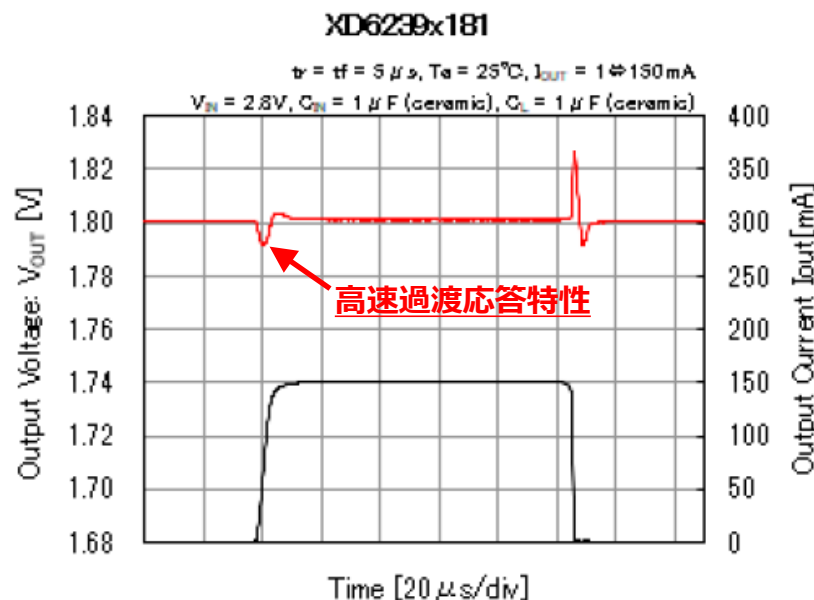


製品の特長

- ・ 出力電流 : 300mA
- ・ 入力電圧 : 2.0V ~ 6.0V
- ・ 動作温度範囲 : -40°C ~ 125°C
- ・ DFN1010-4Cパッケージで省面積

ターゲットアプリケーション

車載カメラモジュール、ドライブレコーダ
車載ボディ制御系／インフォテイメント系アプリケーション、ETC、産業機器



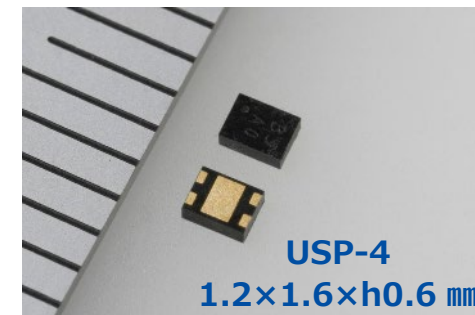
20V入力 1.2 μ A 高速LDOLレギュレータ シームレスGO搭載

XC6705 シリーズ

- ・ シームレス Green Operation機能搭載

出力電流に応じて低消費電流動作から高速LDOへシームレスに移行

- ・ 低消費電流 : 1.2 μ A
- ・ 高リップル除去 50dB@1KHz

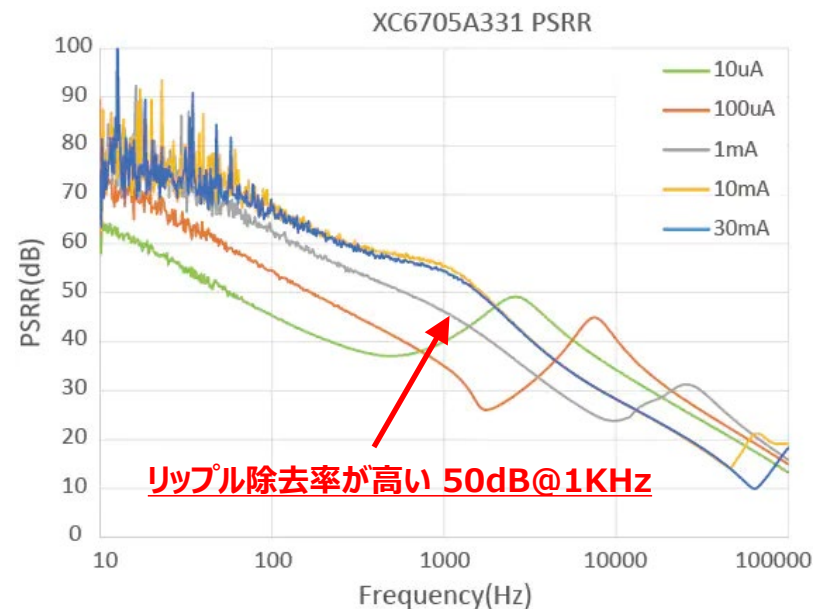


製品の特長

- ・ 出力電流 : 200mA
- ・ 入力電圧 : 3.5V ~ 20.0V
- ・ 105 $^{\circ}$ C 動作対応
- ・ USP-4パッケージで省面積

ターゲットアプリケーション

スマートメーター、ガス検知器、煙検知器
センサ/IoT器機、FA機器
Li2次電池 2~4直



パワーデバイス製品開発

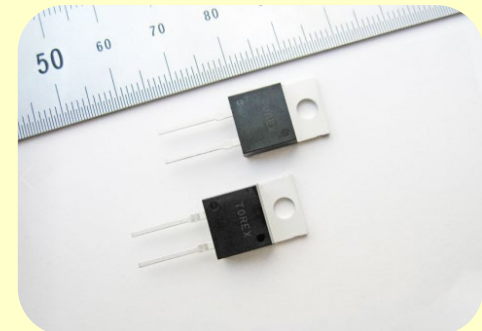
● トレックス 電源ICに加え、パワー半導体製品も強化

パワー半導体事業拡大の専任組織を設置し、強力に推進

- ・ **MOS-FET**ラインナップ拡充（低V_{th}製品、中耐圧大電流製品、低リーク）
- ・ **IGBT** 製品開発の検討
- ・ **SiC** 製品開発推進、製品の具体化
 - ⇒ **フェニテック製 SiC-SBD** トレックスよりPKG品サンプル提供開始
 - ⇒ 順次、製品ラインナップを拡大
- ・ **酸化ガリウム**製品開発
 - ⇒ ノベルクリスタルテクノロジー社と共同開発

トレックスでは、フェニテックセミコンダクターが開発した、SiC ショットキーバリアダイオード 850V／10A品のサンプル提供を開始しました。

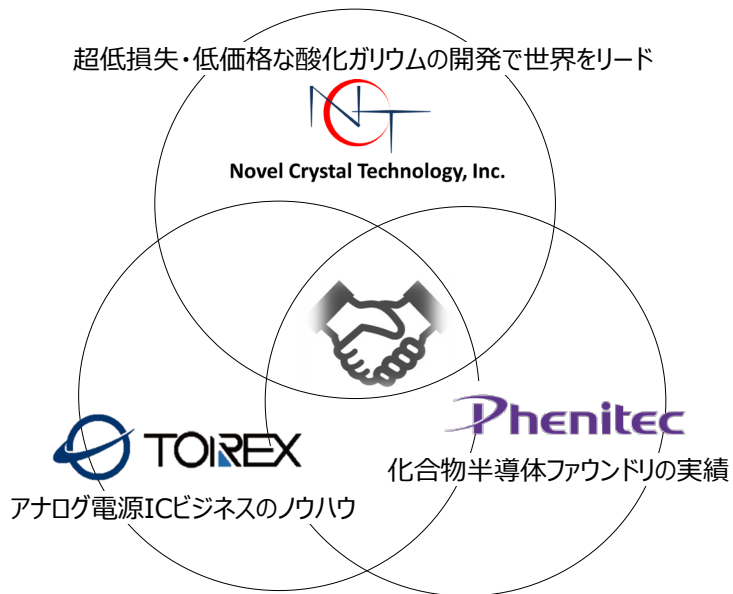
また、本製品を皮切りに順次 650V～1200Vの製品ラインナップ化を推進しております。



[SiC-SBD TO-220AC XBSC11A108CS](#)

ノベルクリスタルテクノロジー社との協業

超低損失・低価格な酸化ガリウムの開発で世界をリード



酸化ガリウムは理論的性能がシリコンより圧倒的に高く、SiC、GaNを超え、様々な分野で期待されています。

2024年1月ネブコン フェニテックブースで展示



世界初、垂直ブリッジマン法による6インチβ型酸化ガリウム単結晶の作製に成功

－ β型酸化ガリウム基板の大口径化・高品質化に貢献 －

株式会社ノベルクリスタルテクノロジー（本社：埼玉県狭山市、代表取締役社長 倉又 朗人）は、垂直ブリッジマン（VB）法による6インチβ型酸化ガリウム（ $\beta\text{-Ga}_2\text{O}_3$ ）単結晶の作製に世界で初めて成功しました。本成果により、 $\beta\text{-Ga}_2\text{O}_3$ 基板の大口径化・高品質化の実現に向けた大きな前進が期待できます。 $\beta\text{-Ga}_2\text{O}_3$ パワーデバイスが広く普及すれば、太陽光発電向けパワーコンディショナー、産業用汎用（はんよう）インバーター、電源などのパワーエレクトロニクス機器の高効率化・小型化、さらには自動車の電動化や空飛ぶクルマなどの電気エネルギーの高効率利用への貢献が期待できます。

2023年12月25日付 ノベルクリスタルテクノロジー社 プレスリリース より



VB法で作製した6インチ単結晶の全体像の写真
ノベルクリスタルテクノロジー社HPより

評価されているTRX製品

トレックスの電源ICは、省電力/小型のスペックが評価されています。

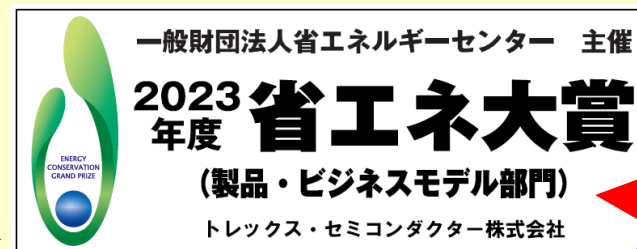
2023年度



日刊工業新聞主催

XC9145シリーズ：昇圧DC/DCコンバータ
回路の消費電流を400nAまで低減したPWM/PFM制御方式を採用することで、軽負荷時、特に数 μ Aの出力電流における電力効率を50~60%改善しました。

奨励賞
受賞



審査委員会
特別賞受賞

XC8110/8111シリーズ：ロードスイッチIC
理想的なダイオードを再現し、チップイネーブル(CE)、過電流制限、突入電流制限、サーマルシャットダウン機能等を搭載したロードスイッチICです。

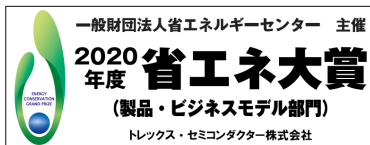
2022年度



日刊工業新聞主催

XC8110/8111シリーズ
ロードスイッチIC

2020年度



省エネルギーセンター主催

XC9276シリーズ
DC/DCコンバータ

2019年度



日刊工業新聞主催

XC9281/XC9282シリーズ
DC/DCコンバータ

2018年度



経済産業省主催

XC9265シリーズ
DC/DCコンバータ

2018年度



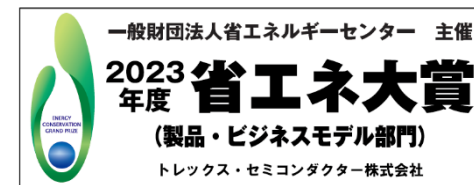
日刊工業新聞主催

XC6192シリーズ
ロードスイッチIC

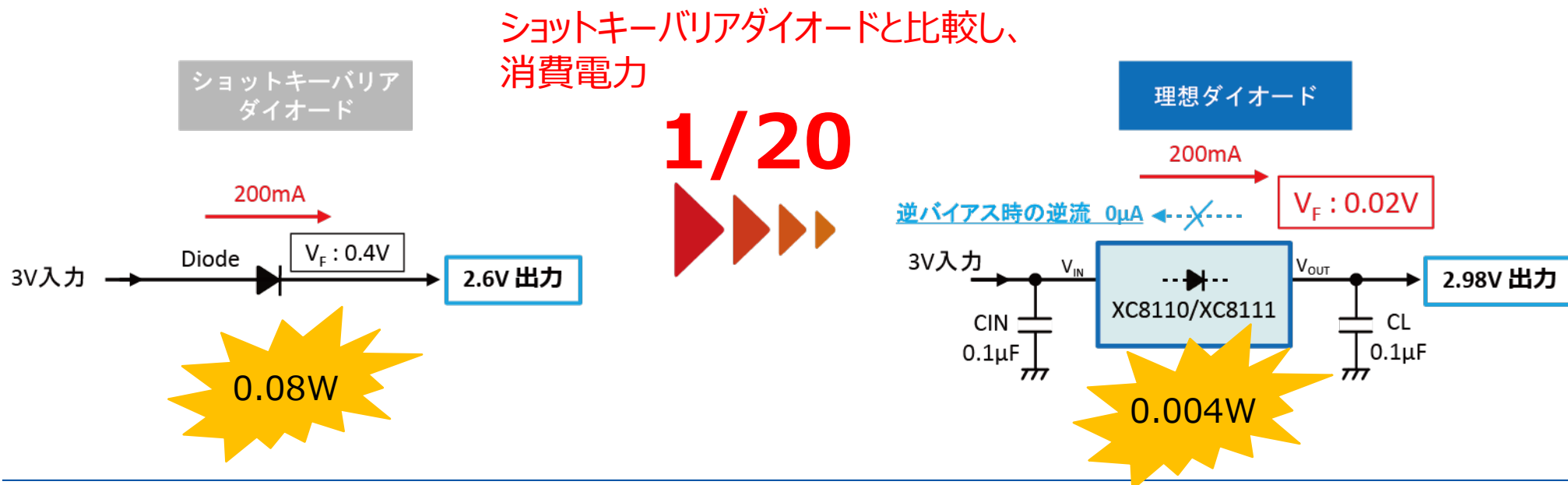
TOREX ロードスイッチ技術で理想ダイオード機能製品を開発

■ 理想ダイオード機能

- ・ 順方向電流：低オン抵抗で低損失、逆方向電流：0 μ A
- ・ 電流制限回路内蔵、オン／オフ機能内蔵



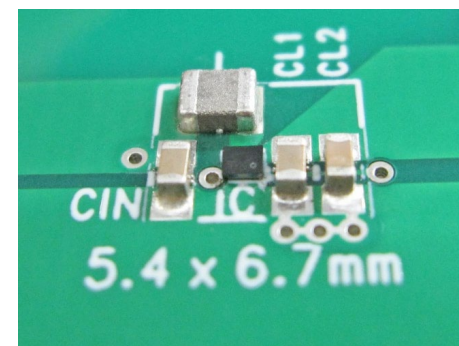
■ GXへのアプローチ



400nA 昇圧DC/DCコンバータ “XC9145シリーズ”

■ PWM/PFM制御 昇圧DC/DCコンバータ

- 超低消費電流 : **400nA**
- ドライバ内蔵同期整流

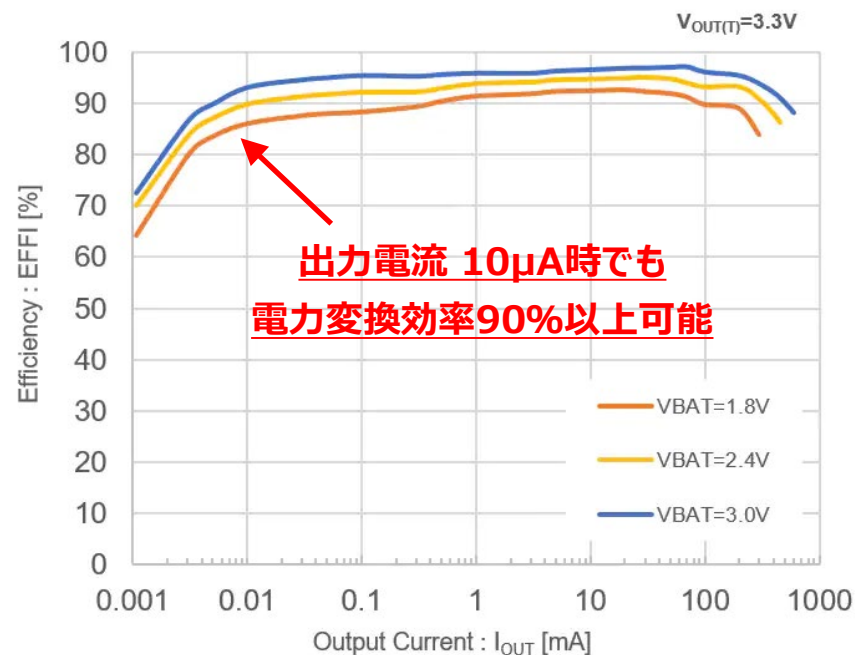


製品の特長

- 低出力電流時の高い電力変換効率
- 105°C 動作対応
- 実装面積 **5.4×6.7 mm**
- チップサイズ 1.28×1.08×h0.4 mm

ターゲットアプリケーション

低消費電流化が進む MCUやSoC
 常時動作するIoTデバイスやポータブル機器
 システム待機時の割合が大きい機器
 電池駆動の長時間化に貢献



フェニテックセミコンダクター

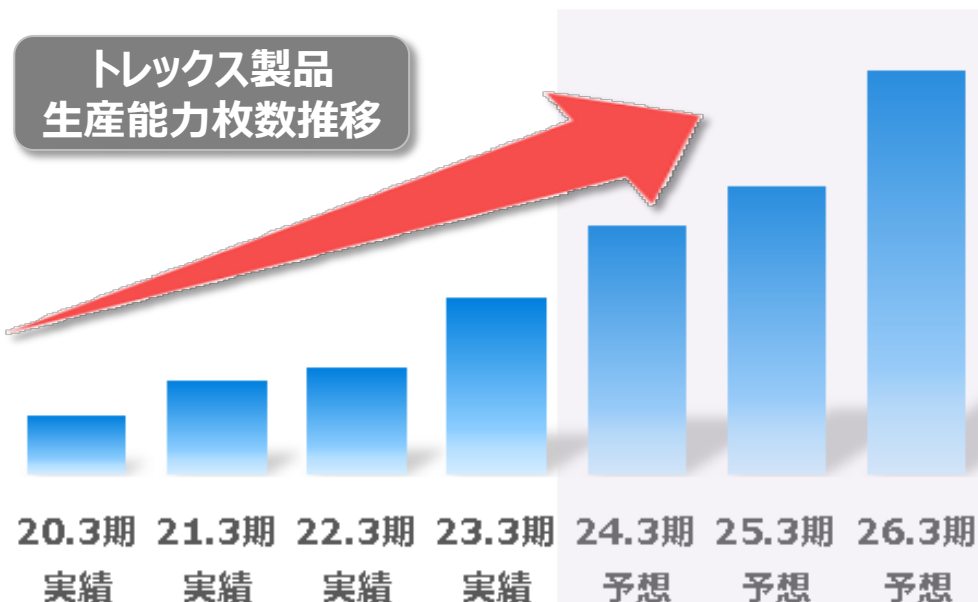
トレックス メインFABの一つとして鹿児島工場生産能力増強

- ・ アナログ電源IC 生産能力増強
- ・ 生産能力増強に関わる設備投資 総額44億円
(内 24.3期設備投資 30億円を計画)
- ・ 装置増設 23.3期Q4より導入開始
- ・ 2024年2月9日 クリーンルーム増床 竣工式
順次生産装置搬入中

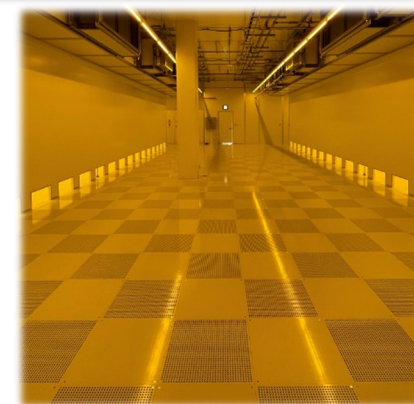
竣工式



トレックス製品
生産能力枚数推移



鹿児島工場5号館3階をクリーンルーム化



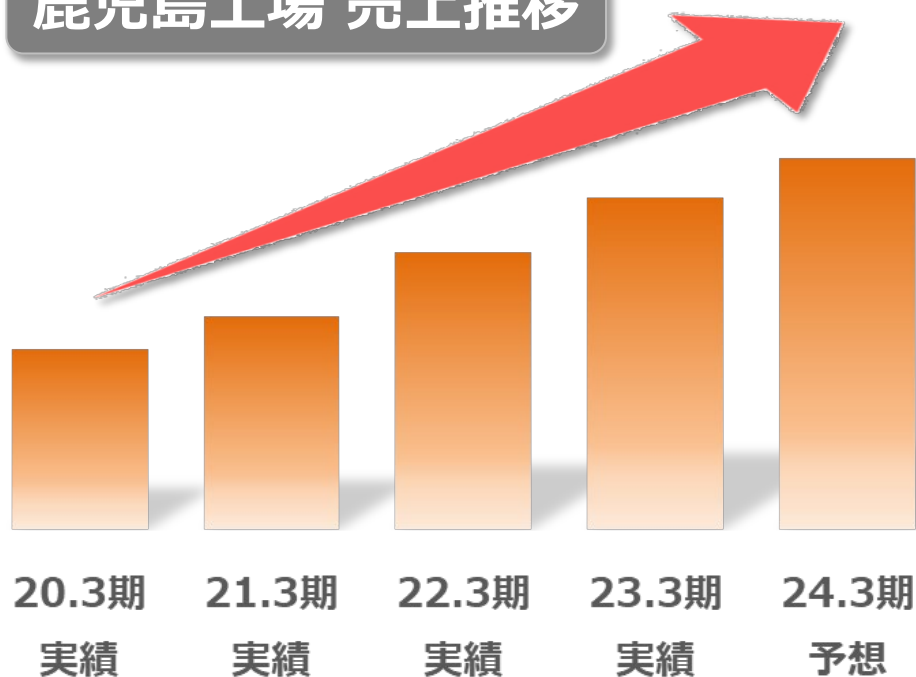
トレックス製品の長期安定供給を実現

鹿児島工場の取組み

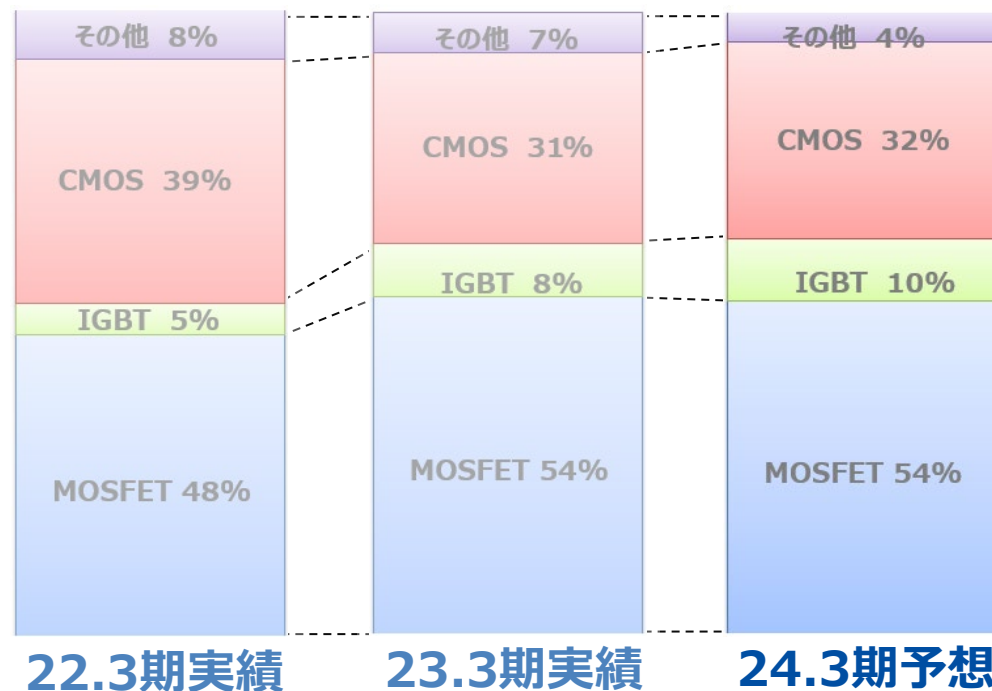
- ✓ 事業計画達成に向けた生産能力増強
- ✓ 製造固定費削減による安定した収益の確保
- ✓ トレックス アナログ電源IC増産に向けて生産能力を拡充

24.3期 20,000枚/月 安定した生産体制へ

鹿児島工場 売上推移



主な量産製品と構成比



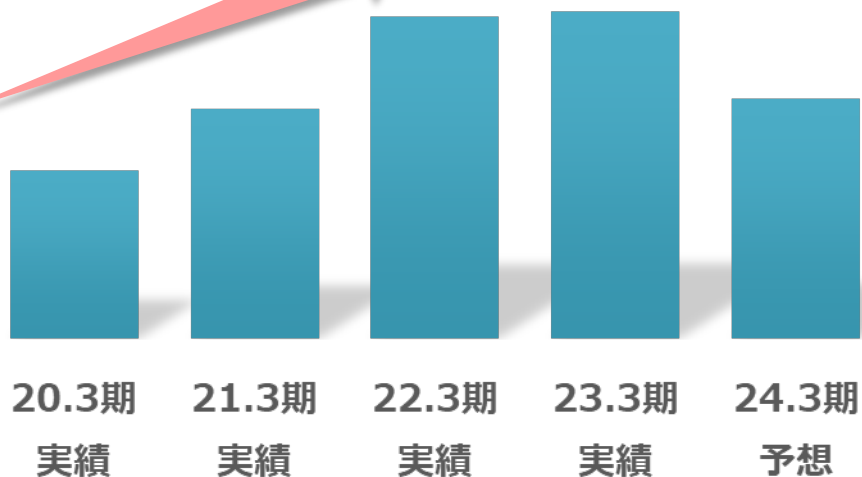
岡山工場 統合

✓ 第2工場の生産品を第1工場に集約

■ **23.3期Q3**
岡山工場統合計画を再開

■ **24.3期Q3**
2024年11月 岡山工場統合を完了

岡山工場 売上推移



✓ 統合によりBCP・高い収益性・
効率性の実現

生産集約

23.3期
下期から市況の
在庫調整により
受注減少

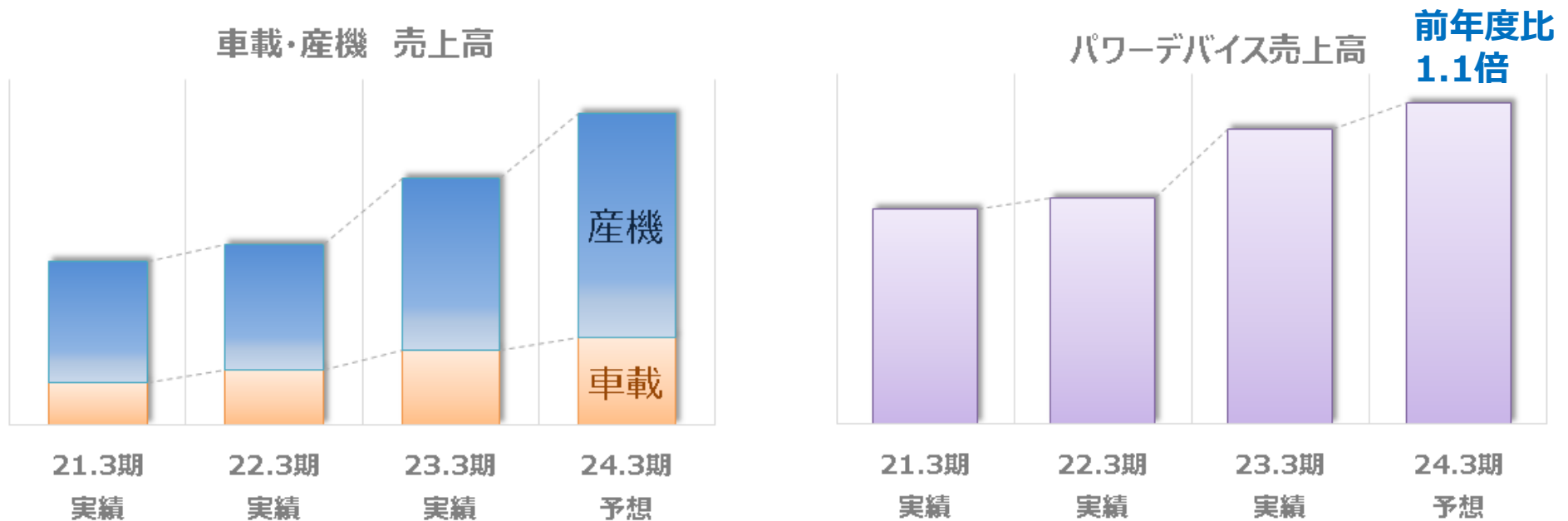
25.3期より
受注回復見込



Siパワーデバイスの受注は引き続き高水準を維持

要因：自動車の電動化、産業機器、5G、新エネルギーなどの需要好調

デバイス：IGBT、MOSFET、SBD



化合物半導体材料に対応したプロセス技術開発 パワー半導体供給ニーズに応える

取扱い：炭化ケイ素 (SiC)、酸化ガリウム (Ga₂O₃)、窒化ガリウム (GaN)

✓市場要求に応えるパワー半導体の開発により更なる売上アップを目指す

Siパワーデバイス開発計画

24.3期

25.3期

26.3期

27.3期

新たなパワーデバイス開発により更なる売上アップを目指す

➔ ★Low Vth MOSFET 23年6月量産開始

・医療系、産業系など高密度実装機器をターゲットに低電圧駆動（1.5V以下）製品を開発

・ラインナップ拡充品 開発中

➔ ★スプリットゲート型MOSFET

・非常に低オン抵抗を実現し、より小さなパッケージで高い電流密度を実現（電池の長寿命化等貢献）

・試作評価中

➔ ★フィールドストップ型IGBT

・高入カインピーダンス、高いスイッチング速度、高耐圧且つ低オン抵抗素子フィールドストップIGBTの先端性能を目指した開発

・24.3期Q4サンプル出荷予定

➔ ★ハイパフォーマンス

ショットキーバリアダイオード

・デバイス構造の変更により、VF/IRのトレードオフを大幅に改善
・リーク電流を抑えることで、ジャンクション温度150℃保証が可能に

・サンプル出荷済、25.3期Q3量産予定

SiCオリジナル品

SBD

650V 10A Gen.2,3

650V 6,8,10A Gen.4

650V 20A Gen.2

1200V 10A Gen.2,3

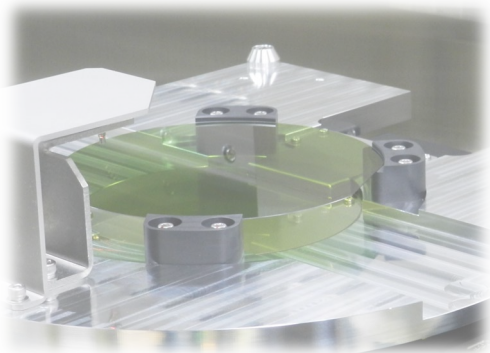
✓ 今後も市場要望にスピーディなシリーズ拡充で対応

・第2,3世代 サンプル提供中/顧客評価中

MOS FET

1200V 20A Planar/Trench

- ・プレーナー型 設計完了/サンプル作成開始
サンプル提供 24.3期Q4予定
- ・トレンチ型 開発中



当社設計オリジナル品SBDは
開発を終え、
量産フェーズへ移行しました

SiCファウンドリ事業

MOSFET

- ・ファウンドリ品を**量産中**
- ・新規顧客開拓中

➤ **オリジナル品、ファウンドリ品の生産による相乗効果で付加価値の高い製品・ウエハ加工技術を提供します。**

第38回 ネプコンジャパン

第1回 パワーデバイス&モジュール EXPO

ネプコンジャパン パワーデバイス&モジュール EXPOへ初出展しました

- ✓ パワーデバイス ファウンドリ会社としての知名度向上
- ✓ 自社開発のパワーデバイス開発製品紹介
- ✓ ファウンドリビジネス紹介

当社が取り組むSiC・Ga2O3の問い合わせが多く、改めて化合物半導体への注目度の高さと可能性を実感した3日間となりました

開催日

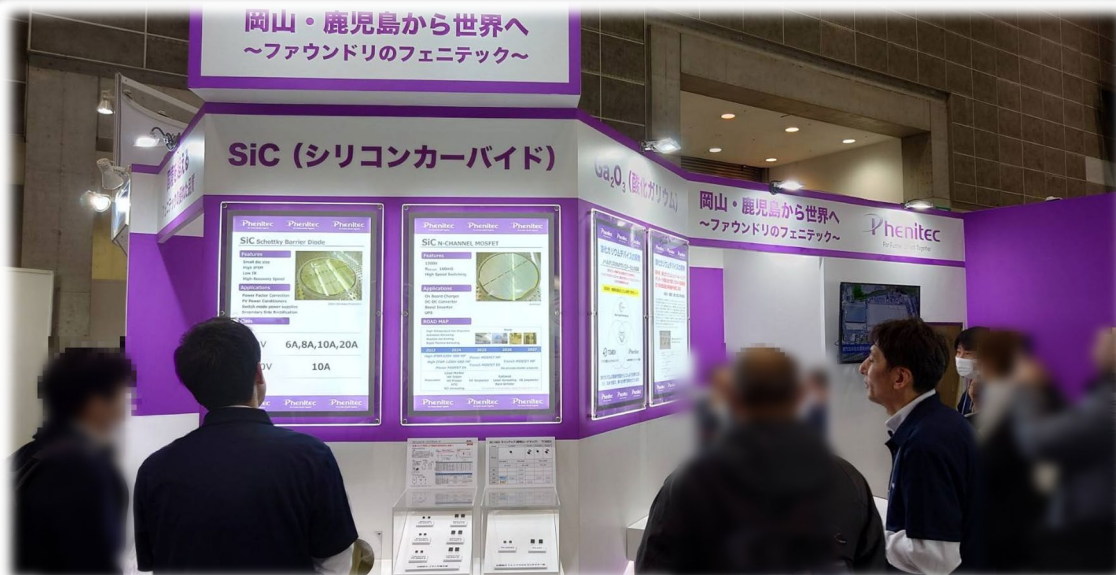
2024年1月24日(水)~26日(金)

会場

東京ビックサイト 東6ホール

出展コンセプト

岡山・鹿児島から世界へ
~ファウンドリのフェニテック~



当社ブースは大変大きな反響をいただき、たくさんの方々にお越しいただきました



当社生産品ウェハ(シリコン・SiC)などを展示しました

Appendix 会社紹介

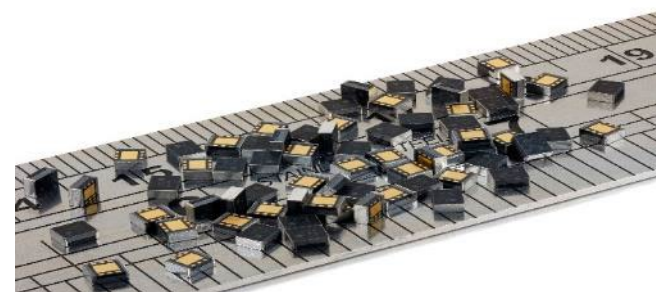
1995年に設立。2014年にJASDAQスタンダード市場に上場、東証二部、一部を経て、2022年4月に東証プライム市場に移行した半導体メーカーです。

アナログのチカラ

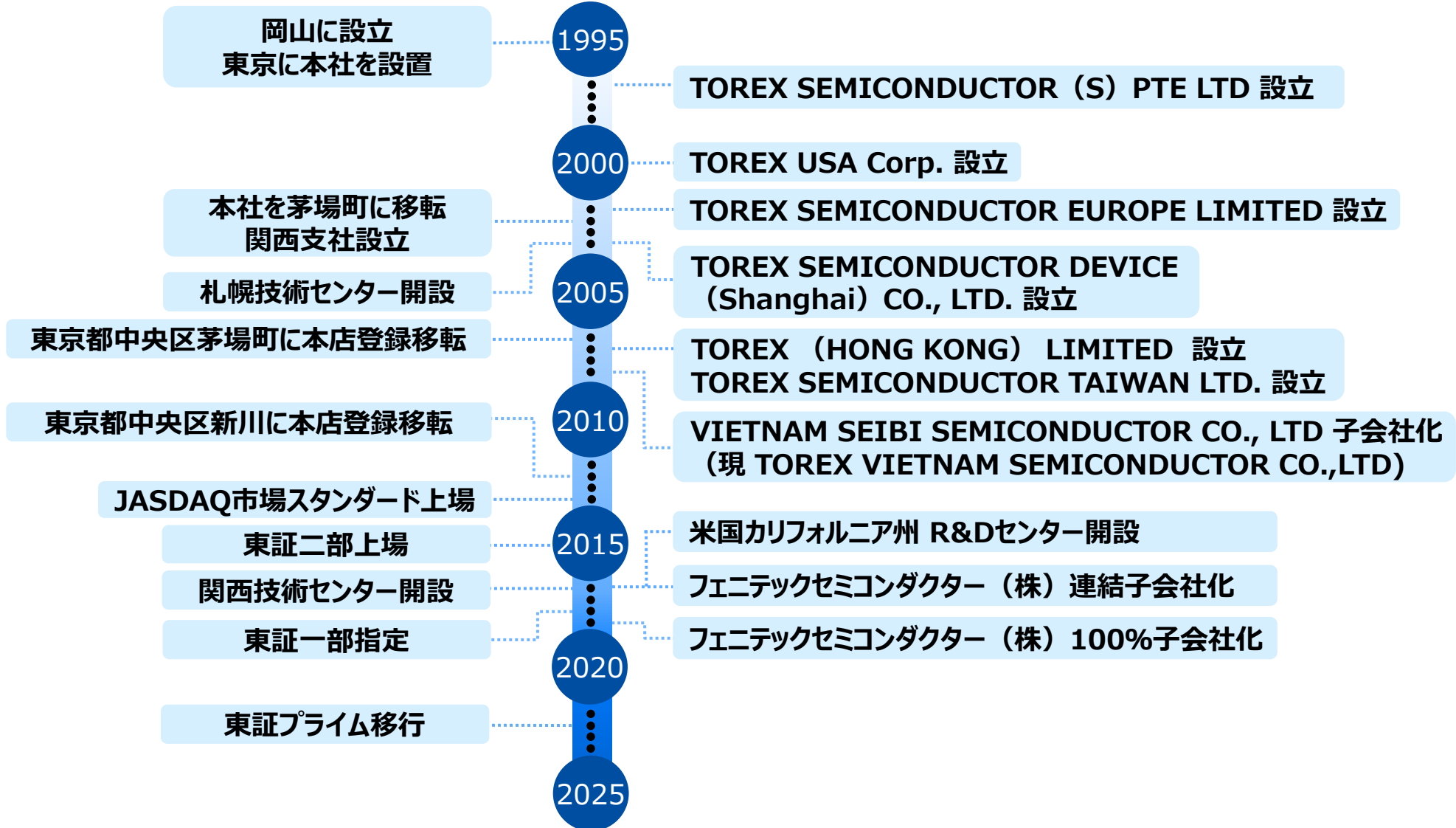
ABOUT TOREX

所在地	東京都中央区新川1-24-1 DAIHO ANNEX 3F
代表者	代表取締役社長 芝宮 孝司
資本金	29億6793万円（2023年12月31日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：184名 / グループ：1,060名
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄することを企業の理念とする。



電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業の発展に貢献してきました。



TOIREX



トレックス・ セミコンダクター

**ファブレスメーカー
アナログ電源IC専業**

強み

- ・省電力／小型化の技術
- ・蓄積されたアナログ回路ノウハウ
- ・マーケティングと製品企画力
- ・フレキシブルな生産工場
- ・高品質をキープするQC
- ・ワールドワイドの製品販売網

Phenitec
For Further Growth Together



フェニテック セミコンダクター

**半導体受託専業(ファウンドリ)
ディスクリート、パワーデバイス、
CMOSアナログプロセス**

強み

- ・高品質を支える生産ノウハウ
- ・長期安定供給のJapanFab
- ・車載 IATF16949取得工場
- ・専門性の高い製造対応力
- ・オリジナルデバイスの開発力
- ・パワーデバイスの開発力



トレックス・ セミコンダクター グループ

- ・顧客第一に徹した、小回りの利く対応力
- ・積極的なコラボレーションやM&Aによる協力関係の構築

**ファブレス&ファウンドリ
それぞれが本業を突き詰めたプロ集団となり、
相互補完でシナジーを発揮する。**

- 国内に東京本社を含む 8 拠点、海外に9つの拠点を設け、世界の需要に対応しています。



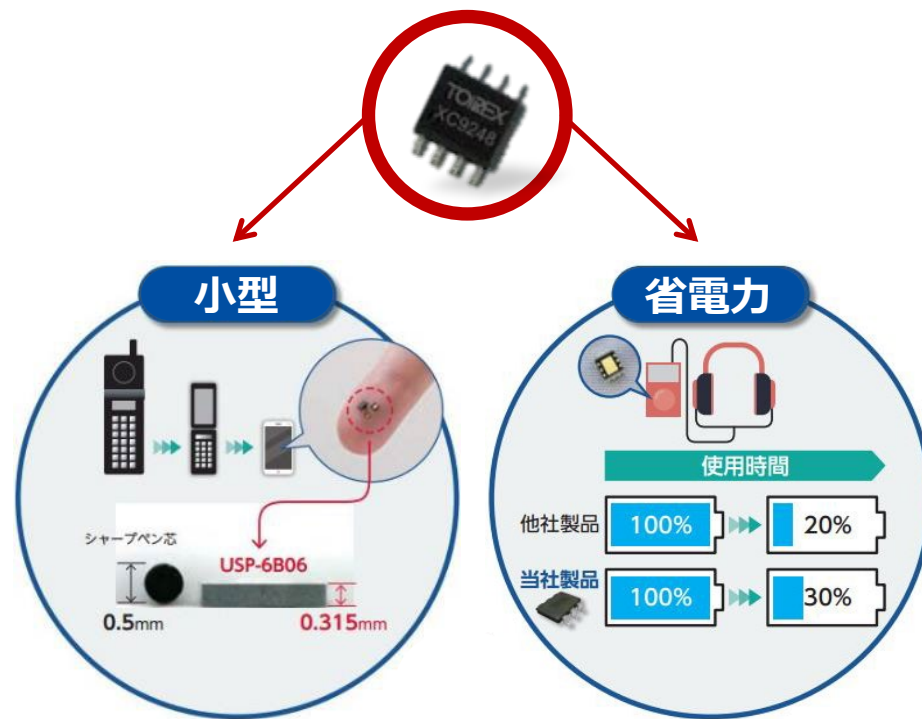
- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



電子機器の様々な機能を動かすために
電圧を制御し安定供給する

TOREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

	トレックス・セミコンダクター	フェニテックセミコンダクター
事業形態	ファブレス	ファウンドリ
主な製品	<p style="background-color: #FFD700; text-align: center; padding: 5px;">省エネに貢献するキーデバイスを提供</p> <p>電源IC</p>	<p>ディスクリート パワー半導体 (SiC、GaN、酸化ガリウム)</p>
今後の重点市場	<p>産業機器 5G、IoTモジュール 全固体電池モジュール</p> <p>車載機器 自動運転、ADAS、車載カメラ 電子ミラー他、様々なECU</p>	<p>産業機器 産業用ロボット、鉄道、インバータ 発電施設（風力・太陽光）、パワーコンディショナー</p> <p>車載機器 EV向けパワー半導体 電装品</p>



5G



IoT



自動運転



EV

本資料に記載された内容は、2024年2月14日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること

